
	<p>第2回 地域で発達性読み書き障害の理解を深めるシンポジウム 『クラスに2～3人いる読み書きが苦手な子どもたち』 ～障害を知り、私たちに何ができるかを考える～を開催します！</p>
<p>と き</p>	<p>6月24日（土） 13:30～16:00</p>
<p>と ころ</p>	<p>区民・産業プラザココネリ ココネリホール(練馬 1-17-1)</p>
<p>社会福祉法人 練馬区社会福祉協議会は、6月24日、区民・産業プラザココネリにて、発達性読み書き障害（発達性ディスレクシア）を持つ人への理解を地域で深めるシンポジウムを開催します。</p> <p>第2回となる今回は、第1部で当事者から発達性ディスレクシアの基礎知識と体験談を聞きます。続く第2部では当事者・当事者家族・元教員という3名のシンポジストそれぞれの立場の話を聞き、合理的配慮とは何か考えていきます。</p> <p>また参加者には『発達性読み書き障害早わかりガイド』（第2版）を無料配布するほか、同冊子を元にしたYouTube動画もシンポジウム内で発表予定です。</p> <div data-bbox="1284 577 1489 857" style="float: right;">  </div> <p style="text-align: right;">▲イベントチラシ</p>	

**【概要】**

日 時：6月24日（土）13:30～16:00

会 場：区民産業プラザココネリ ※オンラインでも実施

定 員：200名（先着順）※参加費は無料

内 容：第1部 基調講演「発達性ディスレクシアの基礎知識と体験談～当事者だからわかること～」  
 <講師>中野区療育センターゆめなりあ・言語聴覚士 関口裕昭さん

第2部 シンポジウム「誰にとっても暮らしやすい地域に～『合理的配慮』ってなんだろう～」  
 <コメンテーター>宇野彰先生(NPO 法人 LD・Dyslexia センター理事長)  
 <シンポジスト> 関口裕昭さん(当事者の立場から)  
 久保綾乃さん(当事者家族の立場から)  
 石井眞弓さん(元教員の立場から)

**●関口裕昭さんについて**

埼玉県生まれ。高校生の時に発達性ディスレクシアと判定。現在は言語聴覚士として中野区の療育センターに勤め、個別療育、保育所等訪問事業に携わっている。学校、保育園、福祉施設などで、実体験をもとに当事者の視点と支援者の視点を掛け合わせた講演活動を行っている。

後 援：練馬区教育委員会/NPO 法人 LD・Dyslexia センター

**【参考】** 発達性読み書き障害（発達性ディスレクシア）とは  
 聞いて理解することや、発話で伝えることは問題がないにも関わらず、文字や文章を読む・書くことに困難のある障害

**【問合せ】** 社会福祉法人 練馬区社会福祉協議会 練馬ボランティア・地域福祉推進センター  
 ☎：03-3994-0208